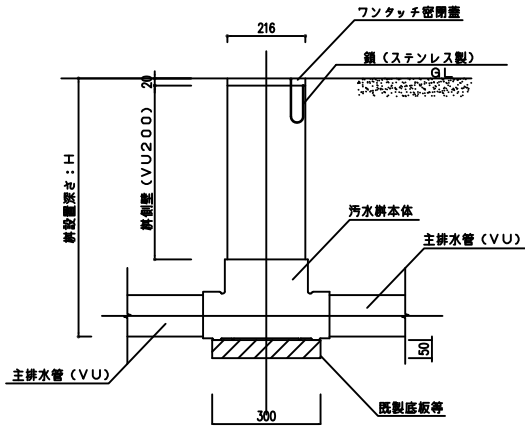


### 柵 仕 様 一 覧 表

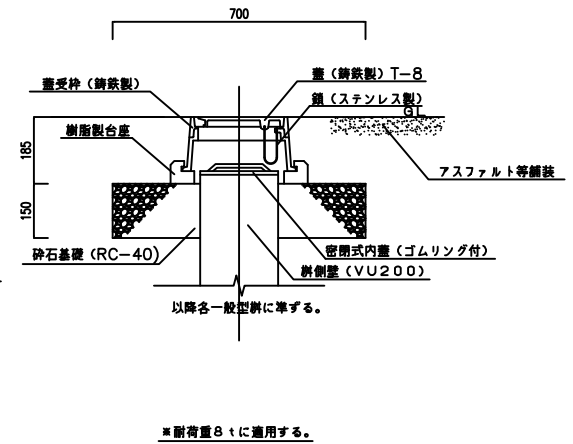
柵 部 品 名 称	数 量	仕 様 ・ 規 格 ・ 寸 法 等
柵 蓋 (共 通)	1	一般型：塩ビ製フタタッチ開閉式 200φ 又は 300φ SUS製鍍付
〃	1	耐重型：鋼鉄製ドライバー開閉式 中蓋付 200φ 又は 300φ SUS製鍍付または鍍香式
〃		メーカーの標準品とする。耐重型の耐荷重は、200φ 8t、300φ 14tとする。
柵側壁 (共 通)	1	硬質塩化ビニル管 (VU) 200φ 又は 300φ
汚水柵本体	1	塩化ビニル製 200φ インバート付 (メーカー標準品)
(柵深さ：1500H未満)		種 別：A) 起点・中間点用 B) 合流点用
		C) トフップ付合流用 D) フロップ用 E) フロップ合流用
		主管路：a) 100φ b) 125φ c) 150φ
		接続管：1) 75φ 2) 100φ
汚水柵本体	1	塩化ビニル製 300φ インバート付 (メーカー標準品)
(柵深さ：1500H以上)		種 別：A) 起点・中間点用 B) 合流点用
		一般型：平塚市下水道設計標準図、1号汚水柵 (1、3方向) 参照 (区分G-7-1、2)
		耐重型：平塚市下水道設計標準図、3号汚水柵 (1、3方向) 参照 (区分G-7-5、6)
汚水泥溜柵	1	塩化ビニル製 300φ 泥溜式 内部防臭トフップ (エルボ返し) 設置
		一般型：平塚市下水道設計標準図、家庭用1号雨水柵参照 (区分G-7-11)
		耐重型：平塚市下水道設計標準図、家庭用3号雨水柵参照 (区分G-7-15)
雨水泥溜柵	1	塩化ビニル製 300φ 泥溜式
		種 別：A) 起点・中間点用・合流点用
		一般型：平塚市下水道設計標準図、家庭用1号雨水柵参照 (区分G-7-11)
		耐重型：平塚市下水道設計標準図、家庭用3号雨水柵参照 (区分G-7-15)
雨水浸透柵	1	塩化ビニル製 300φ 透水式
		種 別：A) 起点・中間点用 B) 合流点用
		一般型：平塚市下水道設計標準図、家庭用1号雨水浸透柵参照 (区分G-7-12)
		耐重型 (本体)：平塚市下水道設計標準図、家庭用1号雨水浸透柵参照 (区分G-7-12)
		(蓋)：〃 家庭用3号雨水柵 参照 (区分G-7-15)

#### <注記>

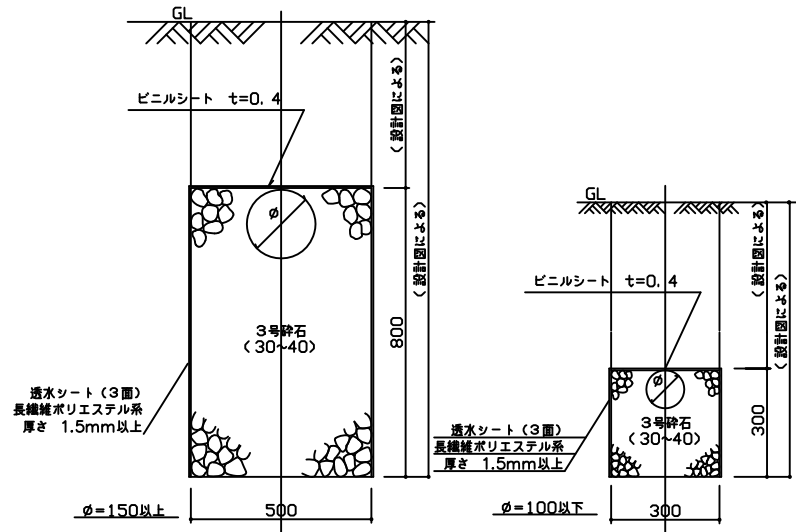
- 1 平塚市排水設備工事取扱要領に基づき作業を行うこと。
- 2 使用材料については、メーカー標準品とする。  
施工方法については、右図及び平塚市下水道設計標準図を参照する。
- 3 柵の設置は枝管1本に付き1箇所を原則とする。
- 4 柵基礎は砂基礎又は既製底板 (メーカー標準品) を標準とするが、地盤状況により平板・切り込み砕石の施工とする。(雨水浸透柵を除く)  
(砂基礎にRC-10を使用する際は、六価クロム溶出試験検査報告書を提出すること。)



一般型汚水柵 (200φ用) 標準図



耐重型汚水柵 (200φ用) 蓋標準図



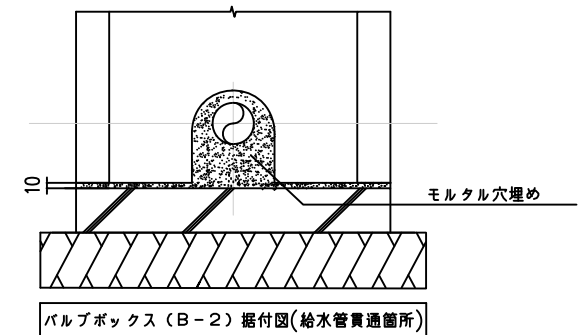
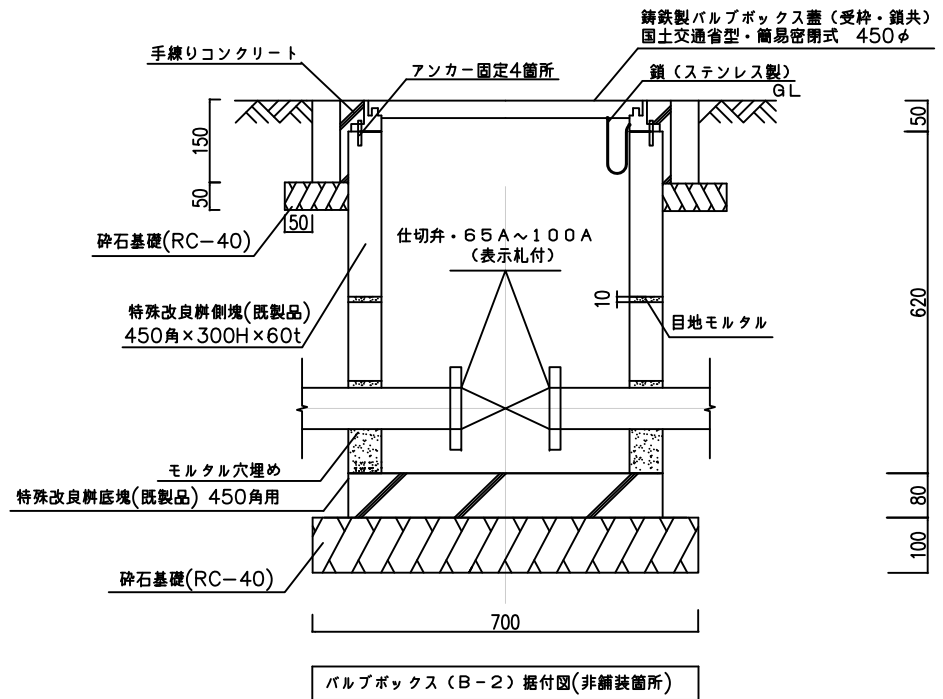
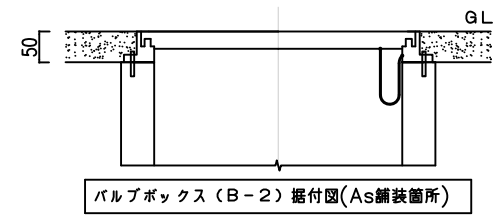
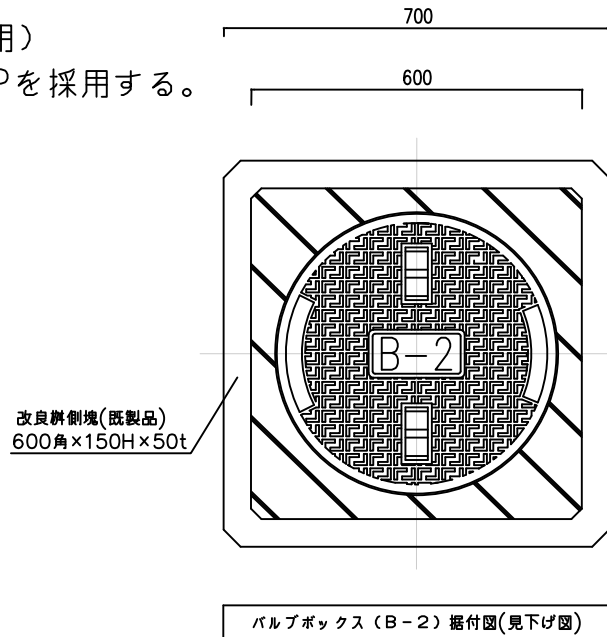
透水管敷設図

平塚市 都市整備部 建築住宅課

汚水柵及び雨水柵 標準図 <A3>NON

# B-2型(65~100A用)

※15~50AまではVC-Pを採用する。



・図中の単位はmmとする

※ 耕底部には、必要に応じて、水抜管を設ける。

平塚市 都市整備部 建築住宅課

バルブボックス 標準図 <A3>1/10